

第2学年 生活科学習指導案

平成29年9月20日(木) 5校時

2年1組 19名

指導者 高橋 英樹

研究主題

問題を解決するために論理的に考えていく児童の育成

～プログラミング教育を通して～

1 単元名

日暮里の町たんけん

2 単元の目標

・自分たちで計画を立てて、身近な地域に出かけ、さまざまな場所を調べたり、地域の場所や人との関わりを広げたりするとともに、地域に親しみを持ち、人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりすることができるようにする。

3 プログラミング教育の視点

見学や調べる手順、まとめる手順などがわかることでや自主的な活動になり、より一層理解が深まると考えた。

フローチャートや図などで考えることで、新しい質問に気付く力が育つと考えた。

4 評価規準

| | 生活科 | | | プログラミング |
|--------------|--|--|---|--|
| | 【生活への関心・意欲・態度】 | 【活動や体験についての思考・表現】 | 【身近な環境や自分についての気付き】 | 【思考力・判断力・表現力】 (組み合わせる) |
| 単元の評価規準 | ・身近な地域の人々やさまざまな場所に関心を持ち、ルールやマナーを守り、安全に気を付けて、見たり、調べたりしようとしている。 | ・行きたい場所や会ってみたい人を決め、相手や場所に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、活動の計画を立てて、まち探検をする。それを振り返って、素直に表現している。 | ・地域にはさまざまな場所があり、多様な人々が働いたり生活したりしていることと、彼らが自分たちの生活を支えていることや楽しくしていることに気付いている。 | ・行った場所の人々の1日の活動の様子を予想しフローチャートにまとめ、実際に調べたり、質問したりして再度作成している。 |
| 学習活動に即した評価規準 | ①身近な地域の場所や人々に関心を持ち、見たり、調べようとしている。 ②働いている人に関心を持ち、仕事の様子を調べようとしている。 ③見学中や歩行中のマナーを守り、安全に気を付けて活動しようとしている。 ④調べたり、聞いたりして分かったことを意欲的にまとめている。 | ①これまでにかかわった地域の人や場所の中から、友達に紹介したいことを考えている。 ②相手や場所に応じた適切な行動や、安全な行動について考えたりしながら、探検の計画を立てている。 ④気付いたことや発見したことを振り返って、言葉や文で表現している。 ⑤地域の方への感謝の気持ちを持ち、自分の言葉で表現している。 | ①人や場所、ものとの関わりの中で、住んでいるまちの知らなかったことを知ったり、よさに気付いたりする。 ②地域には様々な場所があり、そこには様々な人々が生活していることや様々な仕事があることに気付いている。 | ①働いている人に関心を持ち、仕事の様子を考えフローチャートにまとめ、それを活用して、質問を考えている。 ②聞く人にわかりやすい発表順序を進んで考えている。 |

5 単元設定の理由

本単元は、学習指導要領の内容(3)「自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」を受けて設定したものである。

本校は、日暮里繊維街の中にある学校で、子供たちも「布のお店がいっぱいある」ということはおおむね理解しているが、それ以上の興味関心はあまりないように見受けられる。また、多くの店はあるが、限られた場所以外には行かなかったり、地域の人と触れ合う機会も少ないと感じた。

そこで本単元では、まず「自分たちの住むまちについて、紹介したいことや教えたいこと」を考えさせ、日暮里の町について学習をすることを意識させる。日頃見ている地域であるが、実際に南公園や日暮里駅へ出かけ、自分たちの住んでいるまちにはどんな場所、人、ものがあるのかを探しに行く。そして、様々な場所、人、ものとの関わりを通して、今までは何気なく生活していた地域への興味・関心をもち、多くの店やものがあり人が働いていることを再認識し、さらには親しみや愛着をもつことができるようにしたい。また、地域の人々の、町に対する思いや自分の生活とのかかわりに、少しでも気付くことができたらと考えている。

6 児童の実態

生活科の学習は、好きな教科の一つである。「ミニトマト」の栽培では毎日水をあげに行き、成長する姿を楽しむに児童が多くいた。トマトが赤く色づいたときは「早く食べたい。」という声が多く飛び交った。一年生との学校探検では、各自が10カ所の教室の説明を考えることができた。昨年、2年生に案内してもらったことを思い出し、1年生にやさしい態度で探検を進められた。充実感とともに、自分たちにもできたという自信も持てた。

本単元に関わっては、日頃、通学路として登下校をしている商店街ではあるが、どんな店があるのか、どんな人が働き、何をしているのかまでは気にしていないのが実態である。繊維街ということもあり、専門的な店が多く立ち並ぶが、その中にもさまざまな店がある。そして同じ繊維を扱っている店でも、働いている人の働き方や取り扱っているものは違う。何気なく通っている道には、多くの店と多くの人々がいて、町を支え私たちの生活と関係している。そのような町の素晴らしさや素敵さが存在する。

この学習では、自分が住む町のよさに気付かせ、人や物とのかかわりの中で、様々な人が仕事をし生活していることに気付かせたい。その手立てとしてフローチャートや図を使用して児童の新たな質問へとつなげていく。

また、町で働いている人々と私たちの生活に関わりあっていることを実際のお店見学や質問等で気づき、実感させていきたい。そして、気付いたことや知ったことを各自の方法で発表することをまとめとして授業を進めていきたいと考える。

7 研究主題に迫るための手立て

論理的に考えていくために

(1) フローチャートの活用

見学したい場所の仕事の様子やわかっていることや予想したことを、付箋に記入し、スムーズな流れになるように並べ替え、フローチャートを作成させる。個々に作成したものをグループで伝え合い、再度グループで1つのフローチャートにしていく。見学場所の人たちが、何をしているのかを予想し1日の仕事の流れを作ることで、「この時間は何をしているのだろう」「この仕事をするためにどんな準備をしているのだろう」と新たな疑問が生まれたり、「物を作るのに、早くから準備しないとまにあわない。」などに気付いたりすると思った。また、まちで働く人たちは、毎日、一定の手順(順番)で活動し、私たちの生活と関係していることにも気づくと考えた。

(2) 付箋の使用

フローチャートや図を作るときに、付箋を使用する。各自が分かったことや考えた仕事の内容を付箋に記入し、グループで、仕事内容を比較検討し、フローチャートや図にまとめる。情報を整理しながら入れ替えや新たな内容の付け加え、削除が容易にでき順序やまとまりが明確になると考えた。

(3) フローチャートの見本をつくる

初めての活動であるので、事前に児童が見学を希望していない場所を例にしてクラス全体で仕事や活動を考えて短冊に書き、並べ替えてフローチャートをつくる活動を通して次時に生かしていく。

8 指導計画 (全19時間)

| 次 | 時 | ○児童の活動 | ◇指導上の留意点 支援 | ☆評価【観点】[評価方法] |
|---|------------------|---|--|--|
| 一 | 日暮里のまちのことはなそう | | | |
| | 1 | ○日暮里の町で紹介したい場所、人、もので知っていることを話し合う。 | ◇具体的な例を挙げ、紹介する内容が理解できるように説明する。 ◇自分が今までに地域で経験したことや、遊んでいるとき、登下校など様々な場面でのことを思い出させるようにする。 | ☆【思考・表現】 これまでにかかわった地域の人や場所の中から、友達に紹介したいことを考えている。 [発表・ワークシート] |
| | 日暮里のまちのすてきをみつけよう | | | |
| | 2 3 | ○町探検①(南公園方面)へ行き、気付いたことをメモしたり、写真に撮ってくる。 | ◇町探検の際はTPCを3人に1台持たせ、撮影させる。止まったの撮影するように指導を十分に行う。 ◇マナーや決まりについて確認し見学中の態度や移動中の歩き方について気を付けさせる。 ○自分で発見することができない児童には、個別に声かけをする。 | ☆【関心・意欲・態度】 身近な地域の場所や人々に関心をもち、見たり、調べようとしている。 [活動の様子・発言・ワークシート] |
| | 4 | ○町探検①の振り返りを行う。 | ◇撮影した画像を全体で確認しながら情報を共有していく。 ◇町探検①での児童の発見(気付き)をワークシートにまとめ掲示する。 | ☆【気付き】 人や場所、ものとの関わりの中で、住んでいるまちの知らなかったことを知ったり、よさに気付いたりする。 [発言・ワークシート] |
| | 5 6 | ○町探検②(日暮里駅方面)へ行き、気付いたことをメモしたり、写真に撮ってくる。 | 町探検①と同様 | |
| | 7 | ○町探検②の振り返りを行う。 | | |
| | 8 | ○「もう1度行ってみたい」「調べたい」場所を考える。 | ◇個人で第3希望まで書き、グループで発表させる。発表を聞き、様々なことに関心がもてるようにする。 ◇同じ希望の場所ごとにグルーピングし学習への意欲をもたせる。 | ☆【気付き】 人や場所、ものとの関わりの中で、住んでいるまちの知らなかったことを知ったり、よさに気付いたりする。 [発言・ワークシート] |

| | | | |
|-------------------------------------|---|--|---|
| <p>二</p> | <p>9</p> <p>○働いている人や場所についてもっと知りたいことを考える。</p> | <p>◇もう一度行ってみたい場所の理由を聞き、「働いている人について」「作っている、売っているものについて」「その他」と分けて板書し、人やもの、場所を意識させる。</p> <p>◇「人」に視点を当て、どのようなことをしているのかを、お弁当屋さんを例にして想像させ、仕事の様子をフローチャートにまとめ、学習の見通しをもたせる。</p> | <p>☆【気づき】</p> <p>人や場所、ものとの関わりの中で、住んでいるまちの知らなかったことを知ったりよさに気付いたりする。</p> <p>[発言・ワークシート]</p> |
| <p>10本時</p> | <p>○行きたい場所で働いている人たちの仕事について考える。</p> | <p>◇付箋に仕事を書き出させる。</p> <p>◇ワークシートに1日の始めから貼らせる。</p> <p>◇フローチャートや図を見て新たな質問を考えさせる。</p> | <p>☆【関心・意欲・態度】</p> <p>身近な地域の場所や人々に関心を持ち、見たり、調べたり、聞いたりしようとしている。</p> <p>[付箋・ワークシート・発言]</p> <p>☆【思考力・判断力・表現力】</p> <p>働いている人に関心を持ち、仕事の様子を考えフローチャートにまとめ、それを活用して、質問を考えている。[ワークシート・発言]</p> |
| <p>三</p> | <p>「まちたんけん」の計画を立てよう</p> | | |
| <p>1</p> <p>1</p> | <p>○グループごとに、計画を立てる。</p> <p>・学校からの道順</p> <p>・持ち物</p> <p>・気を付けること</p> <p>・調べたいこと</p> <p>・質問内容</p> | <p>◇個人→グループという順に考えさせる。</p> <p>◇フローチャートを参考にさせさらに知りたいことがないか考えさせる。</p> <p>◇インタビューの台本を作らせ、練習させる。</p> <p>◇たんけん後、フローチャートを直したり付け加えたりすることを伝える。</p> | <p>☆【思考・表現】</p> <p>相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えたりしながら、探検の計画を立てている。</p> <p>[活動の様子・発言・ワークシート]</p> |
| <p>まちたんけんにいこう</p> | | | |
| <p>1</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>3</p> | <p>○グループごとに、町探検へ出かけ、インタビューなどをしてくる。</p> | <p>◇校外で活動する時の安全やマナーについての約束を確認し守るようにさせる。</p> <p>◇グループの役割分担を確認し、助け合って調べるよう指導する。</p> <p>◇帰校時刻は確実に守らせる。</p> | <p>☆【関心意欲態度】</p> <p>見学中や歩行中のマナーを守り、安全に気を付けて活動しようとしている。</p> <p>[行動、発言]</p> <p>☆【気づき】</p> <p>地域には様々な場所があり、そこには様々な人々が生活していることや様々な仕事があるこ</p> |

| | | | |
|----------------------------|--|---|--|
| | | | とに 気付いている。 [発言 ワークシート] |
| 四 | まちなことをお家の人につたえよう | | |
| 1 4 1 5 1 6 | ○各自、実際に聞いたこと、見たこと、分かったことをまとめる。(新聞、ポスター、本、紙芝居) ○各自でまとめたものをもとにして、グループで発表内容を決め、発表の準備をする。 | ◇フローチャートの順番の変更や付け足しがあるグループは修正させる。 ◇まとめに必要な写真の準備を行っておく。 ◇発表方法のモデルを示す。(ポスター、新聞、紙芝居、マップ) ◇役割を決めてグループで協力して作ったり、発表の練習をしたりするよう指導する。 ◇発表内容を考えた後、より分かりやすく伝えるための順序を考える。 ◇進まない児童には、1番の発表は何か、初めて知ったことは何か、などを聞き出し、まとめ方も一緒に考える。 | ☆【関心・意欲・態度】 調べたり、聞いたりして分かったことを意欲的にまとめている。 [活動の様子・ワークシート・新聞] ☆【思考・表現】 気付いたことや発見したことを振り返って、言葉や文(画像も)などを工夫して表現している。 [ワークシート・新聞] ☆【思考力・判断力・表現力】 聞く人にわかりやすい発表順序を進んで考えている。 [発言・ワークシート] |
| 五 | まちたんけんの発表会 | | |
| 1 7 | ○各自、調べてまとめたことを保護者に発表する。 ○友達の発表を聞きながら感想を書く。 | ◇公開授業日に発表会を行い、保護者に伝えられるようにする。 ◇自分や友達の発表を通して、自分の生活とのかかわりに気づき、地域への親しみや愛着をもてるようにする。 | ☆【思考・表現】 気付いたことや発見したことを振り返って、言葉や文などを工夫して、伝えたり表現したりしている。 [発表・新聞] |
| | お世話になったかたに かんしゃの気もちをつたえよう | | |
| 1 8 1 9 | ○お世話になった方に、自分たちの学習のまとめを伝える。 ○どのように伝えるか、考え計画を立てる。 ○お礼のお手紙を書く。 | ◇本時の学習に協力していただいたことへの感謝の気持ちを忘れないように指導する。 ◇グループ活動も取り入れ、児童同士の学び合いの機会を増やす。 | ☆【関心・意欲・態度】 調べたり、聞いたりして分かったことを意欲的にまとめている。 [発言・手紙] ☆【思考・表現】 地域の方への感謝の気持ちを持ち、自分の言葉で表現している。 [発言・手紙] |

9 本時の活動

(1) 目標

- 身近な地域の場所や人々に関心を持ち、見たり、調べたり、聞いたりしようとしている。
- フローチャートや図などを使って、仕事内容を整理して、質問を考えようとしている。

(プログラミング教育の視点)

(2) 展開

| | | | | |
|---|-------------------|----------|-----|----------------|
| 分 | 学習活動 ・ 予想される児童の反応 | ◇指導上の留意点 | ○支援 | ☆評価【観点】 [評価方法] |
|---|-------------------|----------|-----|----------------|

| | | |
|--|---|---|
| 5 | <p>1 本時のめあてを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループで行く場所について確認する。 <p>*前時に考えた、お弁当屋さんで働いている人の1日を全員で確認する。</p> | <p>◇お弁当屋さんで働いている人の1日に流れ（児童が予想した流れ）を掲示し学習の見通しを持たせる。</p> |
| <p>お店の人に、質問したいこと、聞きたいこと、確かめたいことを考えよう。</p> | | |
| 5 8 | <p>2 問題解決にむけて考える。</p> <p>(1) 個人で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> お店の人がしていること（仕事）を付箋に書き出す。 1日の始めから順番に並べる <p>(2) グループで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自並べたフローチャートを出して、発表する。 発表をもとにしてグループで調べに行きたい場所の仕事の付箋を置き換えてフローチャートを作る。 | <p>◇イメージが少しでも湧くように場所の写真を数枚掲示しておく。</p> <p>◇仕事内容を付箋に書き出させる。</p> <p>◇ワークシートに1日の始めから貼らせる。時々やる仕事は後からどこに入れるかを考えさせる。</p> <p>○お弁当屋さんで働く方の、流れを確認させて、付箋を並べ替えるようにさせる。</p> <p>☆【関心・意欲・態度】</p> <p>身近な地域の場所や人々に関心を持ち、見たり、調べたり、聞いたりしようとしている。[付箋・ワークシート・発言]</p> <p>◇発表する順番は決めておく。</p> <p>◇順番がはっきりしない仕事は同じ順番にするように話す。</p> <p>◇新しいワークシートに付箋を貼りながら、1つにまとめさせる。</p> <p>◇同じ考えはまとめて付箋を貼る。</p> <p>◇新しい付箋に書き直したり、新たに付箋を増やしたりしてもよいことを知らせる。</p> <p>◇話し合っって新しく考えた仕事内容は、桃色の付箋を使用させる。</p> |
| 1 0 | <p>3 学級全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとにどのようなフローチャートになったのか、簡単に発表する。 グループで考えた流れと見比べる。 自分たちのグループの考えに付け足すものがあれば付け足す。 | <p>◇発表する児童は決めておく。</p> <p>◇見比べられるように拡大掲示できるようにする。</p> |
| 1 2 | <p>4 質問を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> フローチャートを参考にして、各自で質問を考える。 | <p>○質問が考えられない児童には、仕事の合間や「もし○○になったら」等の助言をして、質問を考えるヒントとする。</p> <p>☆【思考力・判断力・表現力】働いている人に関心を持ち、仕事の様子を考えフローチャートにまとめ、それを活用して、質問を考えている。[ワークシート・発言]</p> |
| 5 | <p>5 本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに本時の振り返りを各自で書く。 | <p>○今日の学習で「できたこと」「頑張れたこと」を書くようにさせる。</p> <p>◇仕事について整理していくと、いろいろな質問が考えられることを話す。</p> <p>◇今後グループで実際に行きたい場所へ行き、インタビューをしたり、調べたりして、考えた順番を修正することを伝え、見通しをもたせる。</p> |